

TradeWaltz へ簡単にデータ入力できるファイルアップロード機能を公開 ～RPA ツールを活用～

株式会社トレードワルツ

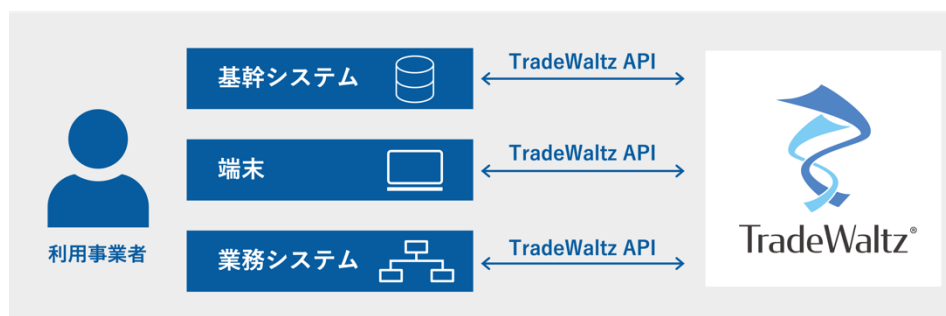
株式会社トレードワルツ（以下：トレードワルツ）は、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」（以下：TradeWaltz）に RPA（Robotic Process Automation）を活用したファイルアップロード機能を実装・公開しました。TradeWaltz を利用する場合、自社システムと API 連携を行う形が一般的ですが、API 連携を行わず TradeWaltz の画面から直接・簡易に利用する場合は、自社システムと TradeWaltz の二重入力が必要でした。今回リリースのファイルアップロード機能を活用することで、その手間が大幅に削減され、効率良くご利用いただくことが可能となります。



■大企業向けの本来の TradeWaltz 利用方法：API 連携

API（Application Programming Interface）はソフトウェアやプログラムが持つ機能や情報を、他のプログラム上でも利用できるように繋ぐ仕組みです。Web サイトのなかに別サービスである地図アプリの情報を掲載したり、宅配の配達状況を、メッセージアプリ上で通知したりと、様々な活用事例があります。

TradeWaltz は API 仕様を一般公開しております。特に大企業の貿易実務者には、既にご利用されている基幹システムや業務システムから経由して API 接続をしていただき、認証を通じた高セキュリティ下で、TradeWaltz の契約情報・物流情報登録や、登録情報の閲覧、コミュニケーション支援などを行うことで、現行業務と TW 業務の間をシームレスにつなぐ運用をオススメしています。



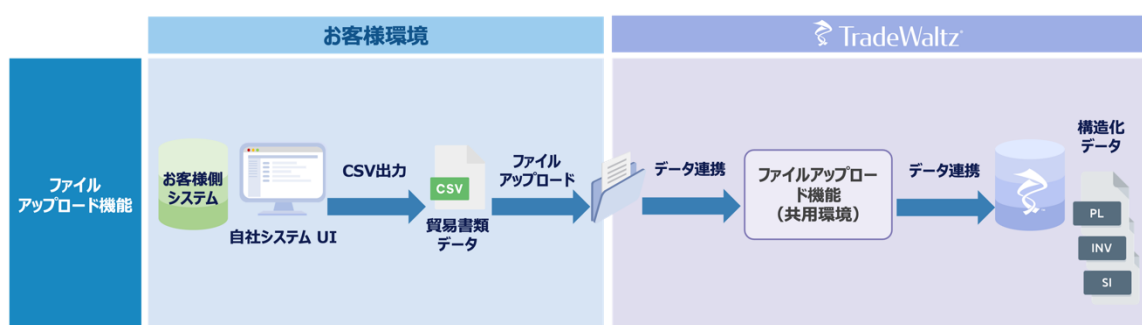
政府でも日本全体としての貿易効率を上げるため、貿易プラットフォームとの API 連携開発へ補助金などを発行してデジタル化の推進をされています。（参考 <https://www.tradewaltz.com/news/5520/>）

■より簡易的な、大企業の一部門や中小企業向けの使い方：UI 画面利用

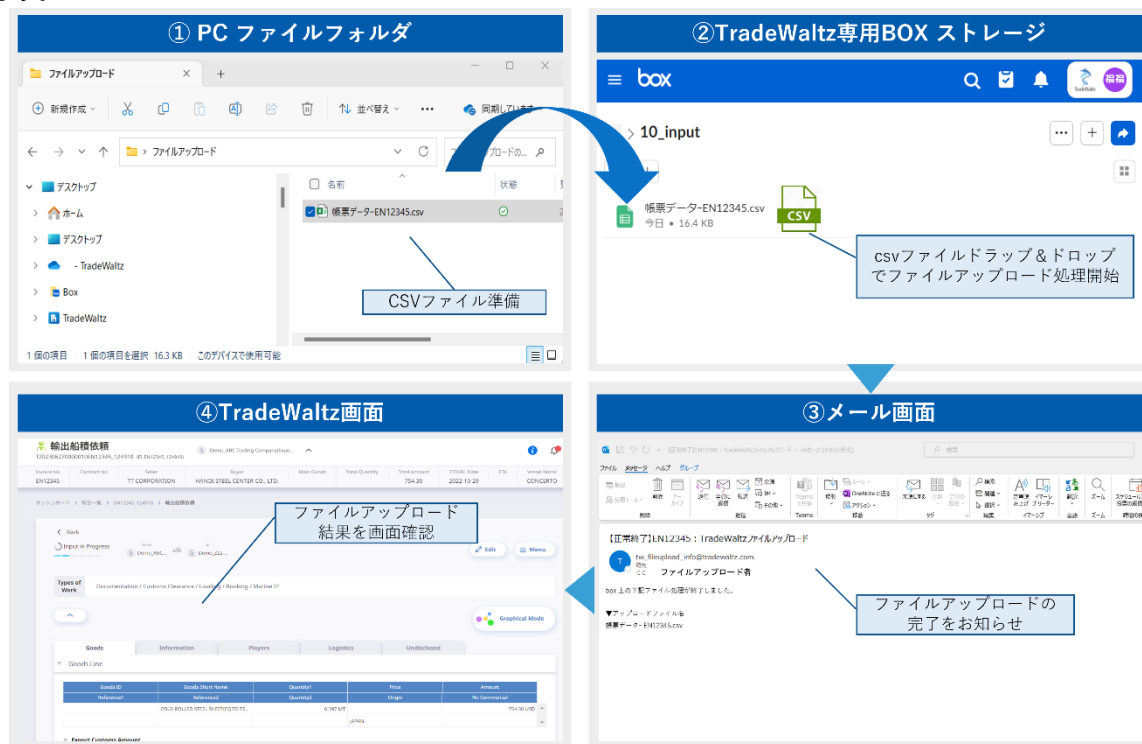
UI (User Interface) はソフトウェアやサービスを、利用者が直接利用する接点のことで、スマートフォンの画面や宅配サービス画面などがその例となります。

お客様の中には①TradeWaltz と自社システムを API で連携するには時間がかかる、②あるいは自社システムがないので、TradeWaltz をまずは UI 画面から利用をされるという方も現状多くいらっしゃいます。しかし、前者①特に大企業の一部門が利用される場合、自社システムにデータ入力した後、TradeWaltz の画面にも入力しなければいけないという「二重入力」のケースが発生していたため、より簡便に自社システムと TradeWaltz を連携する手段も模索していました。

■自社システムと TradeWaltz をつなぐ第 3 の選択肢：ファイルアップロード機能



個々の会社様が構築・導入されている自社システムの多くは、Excel に似た形式の CSV ファイル (Comma-Separated Values) でデータが出力できます。これを TradeWaltz 専用の box ストレージにアップロードいただくと、記載されたデータを自動で RPA が取り込み、TradeWaltz に登録可能なデータフォーマットである JSON(JavaScript Object Notation)形式に変換したうえで API を実行し、TradeWaltz にデータ連携を行うソリューションを実装しました。これをファイルアップロード機能と呼びます。



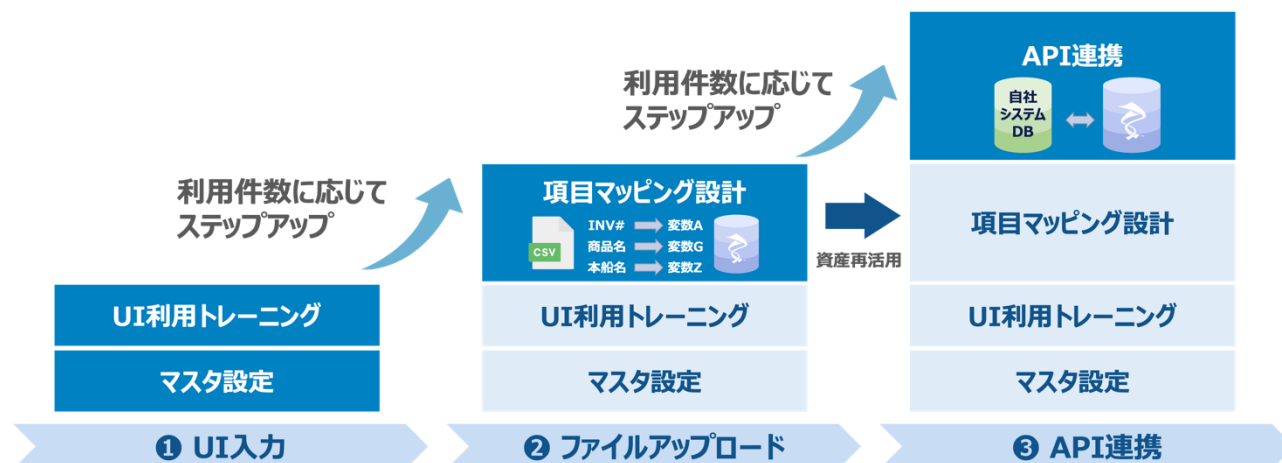
(画面イメージ)

この機能によって、より簡便に手元作業を減らしながら TradeWaltz を使うことができ、某総合商社でも利用が始まっています。

■TradeWaltz 利用拡大の Step by Step

本ファイルアップロード機能の実装・公開を通じて、UI 画面と API 連携の間の Step が埋まり、小さな規模(大企業の一部門等)から TradeWaltz の利用を始め、徐々に利用する規模の拡大(全社等)ができる段階的なサービスをご提供できることとなりました。

自社システムの改修前に、少額予算から、少しずつ現場利用を増やし、効果を確認しながら TradeWaltz 導入を考えていただけるステップアッププランが提供できますので、ぜひご検討下さい。



【関係者のコメント】

株式会社トレードワルツ 執行役員 CPO 柳田 祐介

「この度、ファイルをアップロードすることで TradeWaltz への入力作業を効率化できるようになりました。こちらは、プロダクトを効率的にご利用いただくためのソリューションの位置づけで、昨年度の営業活動の中でも、多くのお客様からご要望を頂いております。これを機に、より多くのお客様に、TradeWaltz を活用した実務の改善、効率化にお役立て頂きたいと考えております。トレードワルツでは、今後も TradeWaltz の導入効果を高めるためのソリューション施策を展開してまいります。」

株式会社トレードワルツ プリセールス 上原 廉裕

「TradeWaltz を利用するにあたって課題であった、データ入力の効率化に資する機能を開発しリリースいたしました。リリース当初より某総合商社様にご利用いただき、その後大手荷主様からの引き合いも既に多数頂戴しております。この機能と設計思想は API 連携までのステップとして最適なソリューションであるご評価いただいております。トレードワルツは今後もお客様の声に耳を傾け、システムの利便性向上を目指し進化し続けてまいります。」

■トレードワルツについて

商号 : 株式会社トレードワルツ

代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久

所在地 : 〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 5 号霞が関ビルディング 36 階 WORKSTYLING

設立 : 2020 年 (令和 2 年) 4 月

事業内容: ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz (注 1)」の SaaS (注 2) 提供

人員数 : フルタイム 59 名

URL : <https://www.tradewaltz.com>

株主一覧: 株式会社 NTT データ / 豊田通商株式会社 / 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 /
住友商事株式会社 / 三菱商事株式会社 / 株式会社 TW Link /
東京海上日動火災保険株式会社 / 豊島株式会社 / 株式会社上組 /
株式会社フジトランス コーポレーション / 三井倉庫ホールディングス株式会社 /
株式会社日新 / 株式会社三菱 UFJ 銀行 / 丸紅株式会社 / 三菱倉庫株式会社/
損害保険ジャパン株式会社

SDGs への取組み: 弊社サービスは主に 8,9,12,13,15,17 のテーマについての取組みを推進しています。



(注 1) 「TradeWaltz」は日本国内における株式会社トレードワルツの登録商標です。

その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

(注 2) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由で必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

本件に関するお問い合わせ先

株式会社トレードワルツ 広報・マーケティング部 担当: 染谷、齋藤、須藤、中尾

Email : info@tradewaltz.com

以上